

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
作成 平成21年12月24日

化学物質等のコード : 1336-8156

化学物質等の名称 : メタぼう酸

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
危険性 : 不燃性であり、通常の実取で発火、引火などの危険性は極めて低い。
有害性 : 眼、皮膚、粘膜に接触すると刺激作用がある。
吸入又は経口摂取すると有害である。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 異性体混合物
化学名又は一般名 : メタぼう酸
成分及び含有量 : メタぼう酸、-----
化学式または構造式 : approx H B O₂
分子量 : 43.82
官報公示整理番号(化審法) : 1-63
CAS No. : 13460-50-9
危険、有害成分 : メタぼう酸

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 新鮮な空気の場所に移し、安静保温に努める。症状が回復しない場合は、直ちに医師の手当を受ける。
皮膚にふれた場合 多量の水で石鹼を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 口をすすぎ、大量の水で薄めて吐かせる。直ちに医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 本品は不燃性である。火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火作業は風上から行い、必要に応じて保護具を着用する。
消火剤 水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂など。

6.漏出時の措置

適切な保護具を着用してできるだけ空容器に回収する。こぼしたところを完全に掃き取った後、大量の水を用いて洗い流す。
この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意

- ・強酸化性物質との接触を避ける。
- ・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・長期や繰り返しの暴露を避ける。
- ・取扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密封する。
- ・漏れ、飛散しないようにし、粉塵を発生させない。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

保管上の注意

・容器は直射日光を避け、換気のよい乾燥した冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準 設定されていない。
許容濃度 日本産業衛生学会 設定されていない。
ACGIH (TLV-TWA) 10mg/m3(酸化ほう素として)

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
- ・取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

状況に応じ、防塵マスク、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性 白色の結晶性粉末～粉末又は塊
比重 2.486
引火点 データなし
発火点 データなし
爆発範囲(爆発限界) データなし
融点 236
沸点 データなし
溶解度(水) 水に溶ける。
溶解度(溶媒) アルカリ水溶液に溶ける。
エタノールにほとんど溶けない。
蒸気圧 データなし
蒸気密度 データなし
密度 データなし
pH及びその濃度 データなし
分解温度 データなし
オクタノール/水分配係数 データなし

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 通常の実取条件において安定である。
三つの異性体が存在する。オルトほう酸を加熱脱水していくと生成する。さらに加熱すると酸化ほう素になる。

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性
急性毒性 データなし
亜急性毒性 データなし
慢性毒性 データなし
刺激性(皮膚、眼) : データなし
感作性 : データなし
変異原性 : データなし
変異原性(微生物、染色体異常): データなし
皮膚腐蝕性 : データなし
がん原性 : データなし
生殖毒性 : データなし
催奇形性 : データなし
暴露による影響(単回、反復、連続) : データなし
その他 : データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)
: データなし

12. 環境影響情報

分解性 : データなし
蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし

13. 廃棄上の注意

中和法 多量の水に溶かした後、ソーダ灰で中和し、過剰の水で希釈処理する。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷ぐずれ防止を確実に行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制
陸上輸送 : 規制なし
海上輸送 : 規制なし
航空輸送 : 規制なし
国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法 非該当
PRTR法 第一種指定化学物質 No.405
(改正前PRTR法: 1-304)
毒物及び劇物取締法 非該当
消防法 非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則) 非該当
航空法 非該当
水質汚濁防止法 有害物質
土壌汚染対策法 特定有害物質

16. その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共立出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。